

I 調査結果の概要



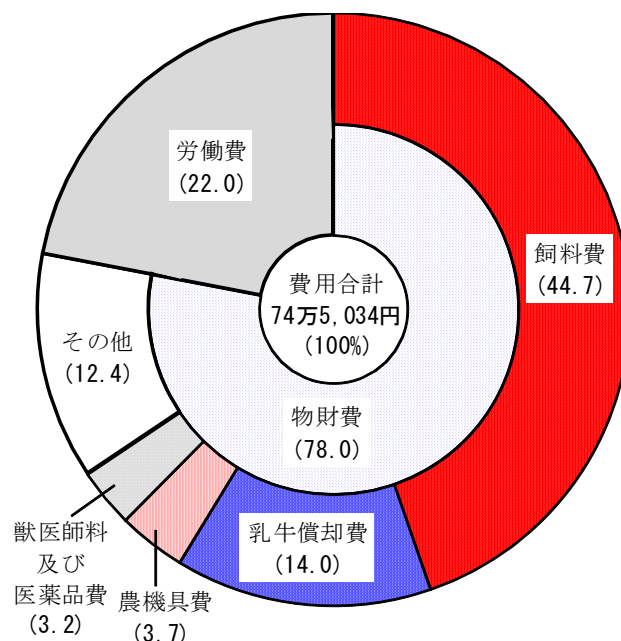
1 牛乳生産費

(1) 平成21年度の搾乳牛通年換算1頭当たり（以下「搾乳牛1頭当たり」という。）の資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は72万5,773円で、前年度に比べ2.9%減少し、生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算）全算入生産費は7,912円で、前年度に比べ3.4%減少した。

(2) 搾乳牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、飼料価格の低下により飼料費が減少したこと等による。

(3) 搾乳牛1頭当たり粗収益は、乳価が上昇したことにより前年度に比べ6.7%増加し、80万700円となった。

図1 主要費目の構成割合
(搾乳牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第1表 牛乳の生産費及び収益性

区分	搾乳牛通年換算1頭当たり		生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量）	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生産費	745,034	△ 2.7	8,121	△ 3.1
物財費	581,399	△ 2.8	6,337	△ 3.3
労働費	163,635	△ 2.1	1,784	△ 2.6
生産費（副産物価額差引）	682,903	△ 3.0	7,444	△ 3.4
支払利子・地代算入生産費	694,380	△ 2.9	7,569	△ 3.4
資本利子・地代全額算入生産費	725,773	△ 2.9	7,912	△ 3.4
粗収益	800,700	6.7	-	-

単位 { 実数：円
増減率：%

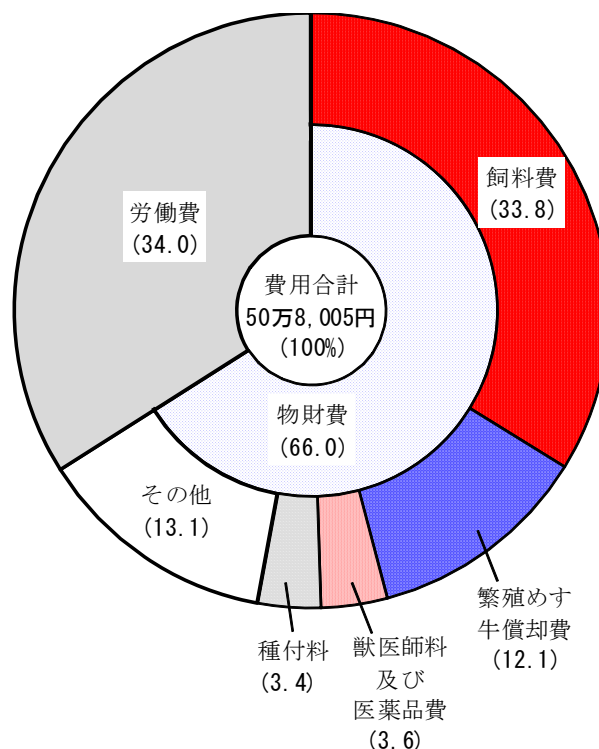
2 子牛生産費

(1) 繁殖めす牛を飼養し、肉専用種の子牛を販売する経営における平成21年度の子牛1頭当たり全算入生産費は55万2,170円で、前年度に比べ0.1%減少した。

(2) 子牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したこと等による。

(3) 繁殖めす牛1頭当たり粗収益は、和子牛市場価格が低下したことから前年度に比べ3.1%減少し、38万2,245円となった。

図2 主要費目の構成割合
(子牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第2表 子牛の生産費及び収益性

区 分		実 数	対 前 年 度 増 減 率
生 産 費	子牛1頭当たり		
	物 財 費	335 321	△ 0.6
	勞 働 費	172 684	1.9
	費 用 合 計	508 005	0.3
	生産費（副産物価額差引）	477 475	0.4
	支払利子・地代算入生産費	485 104	0.4
資本利子・地代全額算入生産費	552 170	△ 0.1	
繁殖めす牛1頭当たり			
粗 収 益	382 245	△ 3.1	

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

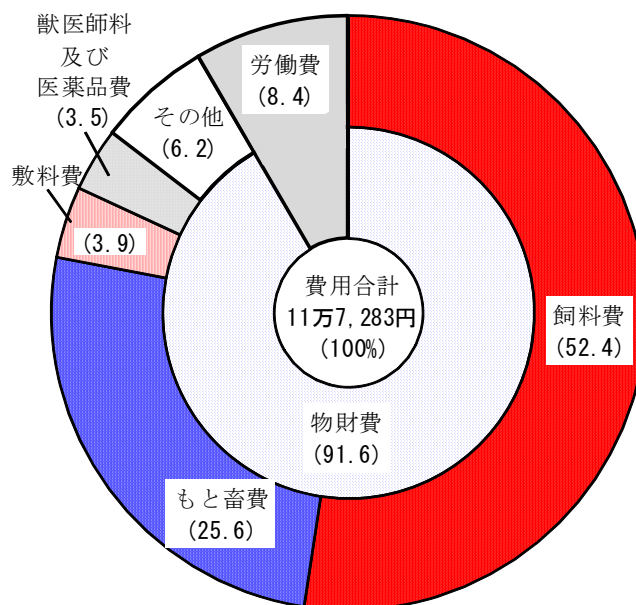
3 乳用おす育成牛生産費

(1) 乳用種のおす子牛を育成し、販売する経営における平成21年度の乳用おす育成牛1頭当たり全算入生産費は11万7,162円で、前年度に比べ11.6%減少した。

(2) 乳用おす育成牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したこと等による。

(3) 乳用おす育成牛1頭当たり粗収益は、肉用子牛（乳用種）市場価格が上昇したことから前年度に比べ5.4%増加し、10万2,572円となった。

図3 主要費目の構成割合
(育成牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第3表 乳用おす育成牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり	
	実数	対前年度増減率
物財費	107,390	△ 9.8
労働費	9,893	△ 16.0
費用合計	117,283	△ 10.4
生産費（副産物価額差引）	114,312	△ 11.4
支払利子・地代算入生産費	115,767	△ 10.6
資本利子・地代全額算入生産費	117,162	△ 11.6
粗収益	102,572	5.4

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

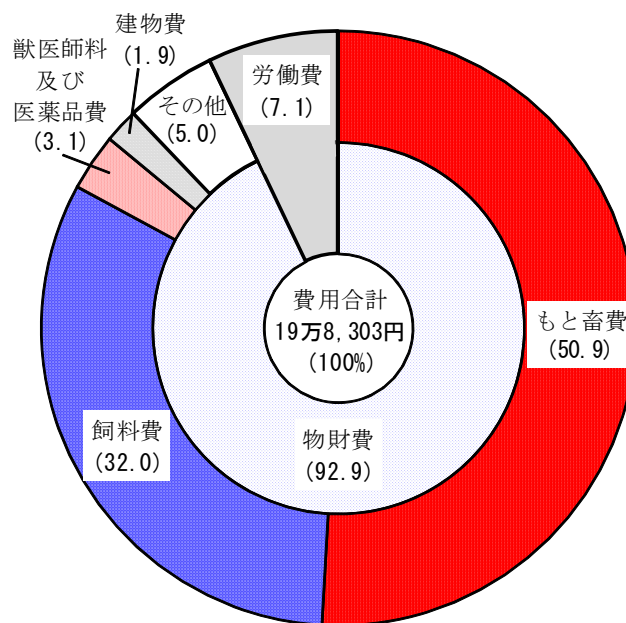
4 交雑種育成牛生産費

(1) 交雑種の子牛を育成し、販売する経営における平成21年度の交雑種育成牛1頭当たり全算入生産費は19万9,880円で、前年度に比べ3.1%減少した。

(2) 交雑種育成牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、もと牛導入時期（主に平成20年9月～21年8月）におけるもと畜費が増加したものの、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したこと等による。

(3) 交雑種育成牛1頭当たり粗収益は、肉用子牛（交雑種）市場価格が上昇したことから前年度に比べ19.7%増加し、20万7,193円となった。

図4 主要費目の構成割合
(育成牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第4表 交雑種育成牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり	
	実数	対前年度増減率
物財費	184,180	△ 3.1
労働費	14,123	△ 2.4
費用合計	198,303	△ 3.1
生産費（副産物価額差引）	195,847	△ 3.1
支払利子・地代算入生産費	196,940	△ 3.7
資本利子・地代全額算入生産費	199,880	△ 3.1
粗収益	207,193	19.7

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

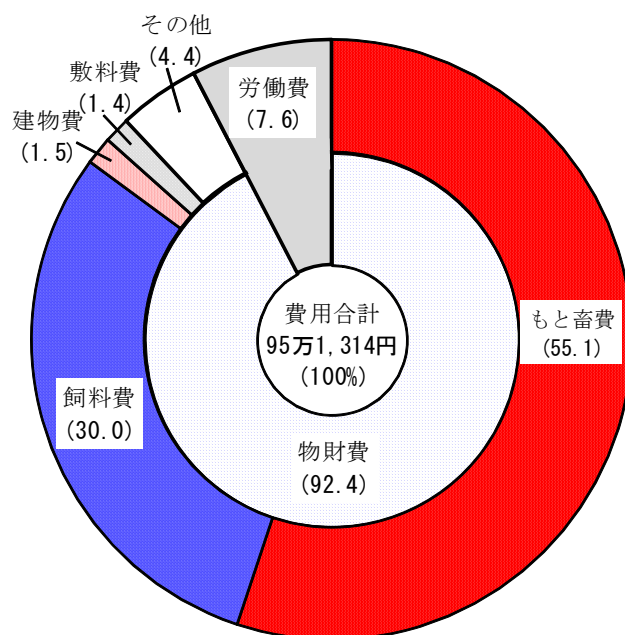
5 去勢若齡肥育牛生産費

(1) 肉専用種の去勢若齡肥育和牛を肥育し、販売する経営における平成21年度の去勢若齡肥育牛1頭当たり全算入生産費は96万5,996円で、前年度に比べ8.5%減少した。

(2) 去勢若齡肥育牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したことや、もと牛導入時期（主に平成19年8月～20年7月）におけるもと畜費が減少したこと等による。

(3) 去勢若齡肥育牛1頭当たり粗収益は、去勢肥育和牛市場価格が低下したことから前年度に比べ5.6%減少し、82万9,080円となった。

図5 主要費目の構成割合
(肥育牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第5表 去勢若齡肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
物財費	878,746	△ 9.1	117,140	△ 10.5
労働費	72,568	△ 0.3	9,674	△ 4.3
費用合計	951,314	△ 8.5	126,814	△ 9.9
生産費 (副産物価額差引)	940,177	△ 8.5	125,329	△ 10.0
支払利子・地代算入生産費	953,997	△ 8.5	127,171	△ 9.9
資本利子・地代全額算入生産費	965,996	△ 8.5	128,770	△ 9.9
粗収益	829,080	△ 5.6	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

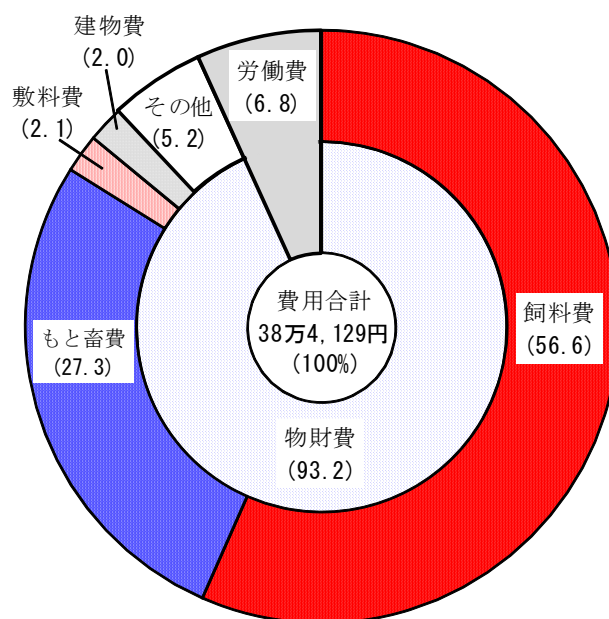
6 乳用おす肥育牛生産費

(1) 乳用種のおす牛を肥育し、販売する経営における平成21年度の乳用おす肥育牛1頭当たり全算入生産費は38万8,437円で、前年度に比べ12.1%減少した。

(2) 乳用おす肥育牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したことや、もと牛導入時期（主に平成20年2月～21年1月）におけるもと畜費が減少したこと等による。

(3) 乳用おす肥育牛1頭当たり粗収益は、肉用牛（乳用種）市場価格が低下したことから前年度に比べ4.4%減少し、34万1,574円となった。

図6 主要費目の構成割合
(肥育牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第6表 乳用おす肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生	358,095	△ 13.1	47,272	△ 13.3
産	26,034	△ 3.5	3,437	△ 5.2
費	384,129	△ 12.5	50,709	△ 12.8
	378,861	△ 12.4	50,014	△ 12.7
	381,505	△ 12.4	50,363	△ 12.6
	388,437	△ 12.1	51,278	△ 12.4
粗	341,574	△ 4.4	-	-
収				
益				

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

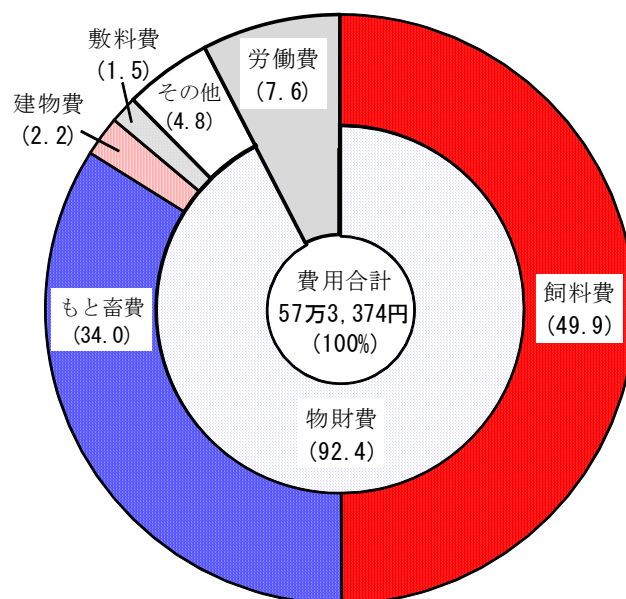
7 交雑種肥育牛生産費

(1) 交雑種の牛を肥育し、販売する経営における平成21年度の交雑種肥育牛1頭当たり全算入生産費は57万3,148円で、前年度に比べ16.8%減少した。

(2) 交雑種肥育牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したことや、もと牛導入時期（主に平成19年9月～20年8月）におけるもと畜費が減少したこと等による。

(3) 交雑種肥育牛1頭当たり粗収益は、肉用牛（交雑種）市場価格が低下したことから前年度に比べ6.6%減少し、49万1,540円となった。

図7 主要費目の構成割合
(肥育牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第7表 交雑種肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生産費	529,950	△ 17.5	70,341	△ 17.7
費用合計	43,424	△ 2.6	5,764	△ 2.8
生産費（副産物価額差引）	573,374	△ 16.5	76,105	△ 16.7
支払利子・地代算入生産費	566,136	△ 16.8	75,144	△ 17.0
資本利子・地代全額算入生産費	269,858	△ 17.0	75,638	△ 17.2
	583,148	△ 16.8	77,402	△ 17.0
粗収益	491,540	△ 6.6	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

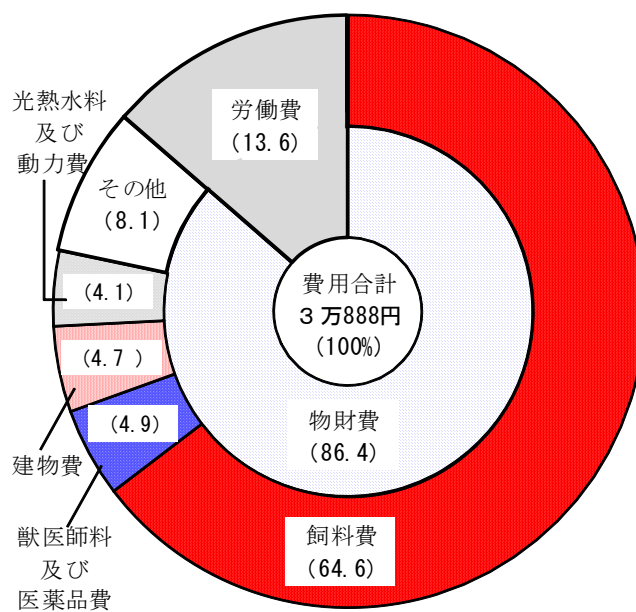
8 肥育豚生産費

(1) 平成21年度の肥育豚1頭当たり全算入生産費は3万1,152円で、前年度に比べ11.8%減少し、生体100kg当たり全算入生産費は2万7,659円で、前年度に比べ11.7%減少した。

(2) 肥育豚1頭当たり全算入生産費が減少したのは、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したこと等による。

(3) 肥育豚1頭当たり粗収益は、豚枝肉価格が低迷したことから前年度に比べ13.7%減少し、2万9,931円となった。

図8 主要費目の構成割合
(肥育豚1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第8表 肥育豚の生産費及び収益性

区分		1頭当たり		生体100kg当たり	
		実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生産費	物財費	26,697	△ 13.2	23,706	△ 13.0
	労働費	4,191	△ 4.6	3,719	△ 4.5
	費用合計	30,888	△ 12.1	27,425	△ 11.9
	生産費（副産物価額差引）	30,250	△ 11.8	26,859	△ 11.7
	支払利子・地代算入生産費	30,389	△ 11.8	26,982	△ 11.7
	資本利子・地代全額算入生産費	31,152	△ 11.8	27,659	△ 11.7
粗収益		29,931	△ 13.7	-	-

単位 { 実数：円
増減率：%